

神戸市水の科学博物館レポート



神戸市水の科学博物館（兵庫区楠谷町）は、神戸市水道事業の紹介と水をテーマとした解説を目的としています。博物館は1917年に建てられ東西50m、ドイツルネッサンス風の重厚かつ優美な外観で建築史上価値ある建物

で周辺は桜の名所としても有名で花見客も多い場所です。グループわは、4年間にわたり水の科学博物館の運営に参加してきました。しかし、運営方針の違いから令和2年3月末で指定管理者を外れ、警備業務のみを委託事業として実施することとなりました。

本事業は、平成28年4月から「神戸市水道サービス公社」「神鋼環境ソリューション」と共に共同事業体を組み、指定管理者として参加し、受付・案内、警備各2人と庶務1人スタッフとして携わり、4年間で計70人が参加してきました。



今年度の入場者数は4万人弱（令和元年12月現在）の年間目標（5.5万人）には届きませんが、目標達成のため、グループわが主体で、毎年1回10月に「オータムフェスティバル」を開催し集客に努めています。今年は、10月13日に開催。むかし遊び、木工、ケナフ、手話ソング、食文20期有志の出店協力を得て、534人の参加者が有りました。

主な来館者は、神戸市立小の4年生。「水」について学ぶ社会学習の場として、年間約140校、12,000人以上が来館。その他、国内外の水道事業関係者、幼稚園、保育所、近隣住民や観光客など幅広い層に親しまれています。

受付・案内、庶務のスタッフの皆様へ、ご支援とご協力を頂き、期間満了まで勤められました。また、博物館の運営という初めての業務を経験したことや、博物館の関係者や多くのスタッフと知り合い、楽しく担当させて頂きありがとうございました。この4年間本当にお疲れ様でした。感謝も申し上げます。

記 理事・増井良夫（生環 21期 須磨区）

警備スタッフを募集中です。

ご希望の方は、グループわ 本部
(743-8101) 増井までご連絡ください。

4年間務められたスタッフの思い出

宮田幸長(本部) 美工17期 東灘区

「これどうするのですか?」「どうするのでしょうか?私初めて・・・」の会話の連発でした。”わ”にとっても、もちろん私宮田も初めて経験することばかりで、戸惑いの毎日で



した。でも、この年になって、チャレンジできる機会を頂けたことは本当にありがたく感謝の念でいっぱいです。1年しか係わることができず申し訳なく思ってます。

清水英暢(警備) 美工12期 兵庫区

引継ぎが十分でなく4月1日の当番で不安な気持ちでスタートしたのを覚えています。書類のミスなどはありましたが、子どものけがなど大きな問題がなかったことはほっとしています。大きな声で「ありがとう」と言われるうれしさも感じています。50人以上のスタッフと知り合い、執務意識は高く大いに刺激を受けた。また旅行と一緒に行く方もできるほど多くの方と親しくなったことは財産です。

米田八千代(庶務) 音文20期 北区

庶務の仕事は、団体見学受付の他イベント申込の受付入館者数やアンケートのPC入力、入館料・販売品売上金の確認、浄水場ボランティアや下見校の対応等多岐にわたっています。執務日は帰宅後も「何か忘れていないのでは?」「何か失敗をしているのでは?」と不安な気持ちも有りましたが、この4年間グループわの仲間や事務所の皆さんと一緒に楽しく「再び学んで、他のために」を実践する事が出来、感謝しています。ありがとうございました。



難波美智子(受付) 生環20期 中央区

シルバーカレッジの卒業が間近になった時、神戸市水の科学博物館で受付・案内スタッフを募集していることを知りました。家から近いということもあり早速申し込み、受け付け案内業務に採用されました。環境は抜群、後ろに山、前には海（今は高いマンションが建ちあまり見えませんが）が見え「神戸」という感じです。月2、3回の業務は、間隔が開くことで忘れてしまうことも多く随分迷惑をかけたと思います。でも、新しい方々とも知り合え良い経験になりました



令和元年7月19日（金） RT会議後の親睦会
(水道局の北野荘にて)